

手稲山地区直轄地すべり対策事業着手式を開催します

手稲山地区では、大規模な地すべりが発生するおそれがあります。このため、北海道開発局、北海道、札幌市では、地すべり防止区域の指定など、事前防災に取り組んでまいりました。こうした取り組みを経て、手稲山地区においては、北海道内では初めてとなる国土交通大臣所管の直轄地すべり対策事業に令和8年4月から新規着手することとなりました。

手稲山地区直轄地すべり対策事業に着手するにあたり、下記のとおり、着手式を開催しますのでお知らせします。

※着手式は招待者のみで執り行います。一般の方は出席いただけませんのでご了承ください。

記

- 日時 令和8年6月27日（土）14時00分～
- 場所 ハイランドスキーセンター（北海道札幌市手稲区手稲金山172番地） 別紙1
- 主催 国土交通省北海道開発局 北海道 札幌市
- 内容 別紙2

【手稲山地区直轄地すべり対策事業の概要】

- ・事業箇所：手稲山地区
- ・事業内容：地すべり防止（抑制工・抑止工の整備）
- ・事業目的：手稲市街地及び重要な交通網（札幌自動車道・国道5号・JR函館本線）の保全
- ・全体事業費：約300億円（令和8年度事業費：4.1億円）
- ・事業期間：令和8年度～令和27年度（予定）

【着手式の取材を希望される皆様へ】

取材を希望される報道関係者の方は、6月25日（木）16時までに「氏名、住所及び所属（会社名等）、緊急連絡先、取材人数」を記載の上、下記メールアドレスまでお申し込み願います。

お申し込み先：国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部

メールアドレス：hkd-sp-kouhou@gxb.mlit.go.jp

※ご提供いただいた個人情報は、当日の参加確認に使用させていただき、他の目的には使用いたしません。

【問合せ先】

- 北海道開発局による砂防事業の全般に係ること

国土交通省 北海道開発局 建設部 河川計画課

河川計画管理官 森田 共胤（電話番号 011-709-2110 ダイアルイン）

開発専門官 影山 大輔（電話番号011-709-2110 ダイアルイン）

北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>



- 手稲山地区直轄地すべり対策事業の概要や着手式の取材等に係ること

国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部

ダム事業対策官 近藤 雄一（電話番号 011-611-0329 ダイアルイン）

河川計画課 事業専門官 永木 剛史（電話番号 011-611-0329 ダイアルイン）

札幌開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/sp/>



- 北海道による砂防事業の全般に係ること

北海道 建設部 土木局 河川砂防課

課長補佐 片岡 勝裕（電話番号 011-204-5560 ダイアルイン）

主査 佐々木 卓（電話番号 011-204-5560 ダイアルイン）

北海道ホームページ <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/>



- 札幌市における土砂災害に対する警戒避難体制の構築に係ること

札幌市 危機管理局 危機管理部

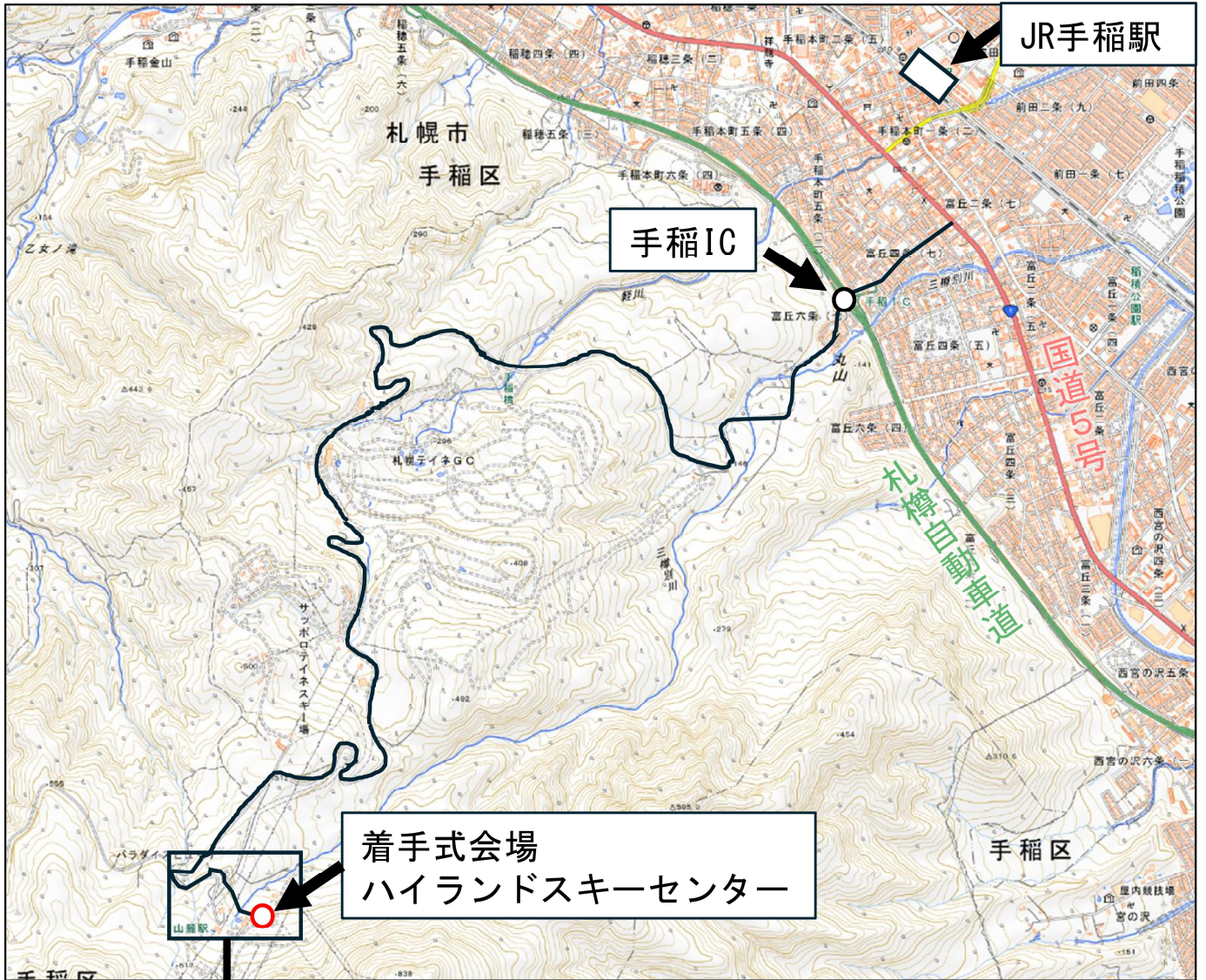
危機管理課 防災計画担当課長 後藤 昌範（電話番号 011-211-3062）

防災計画担当係長 中澤 辰哉（電話番号 011-211-3062）

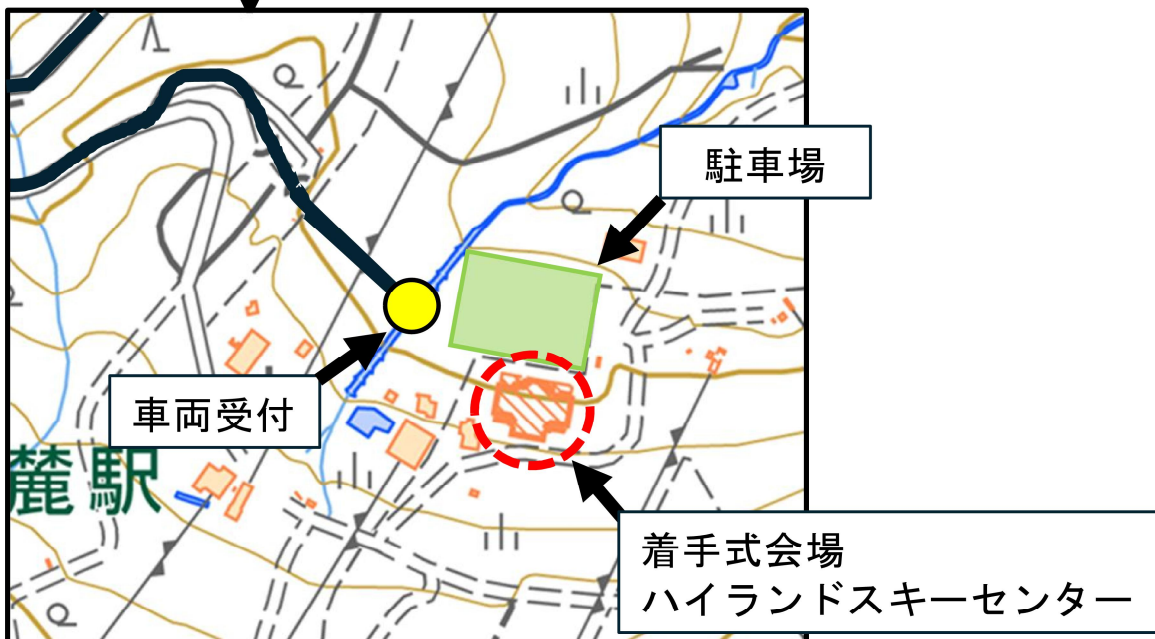
札幌市ホームページ <https://www.city.sapporo.jp/>



手稲山地区直轄地すべり対策事業着手式 会場案内図



出典：国土地理院地図



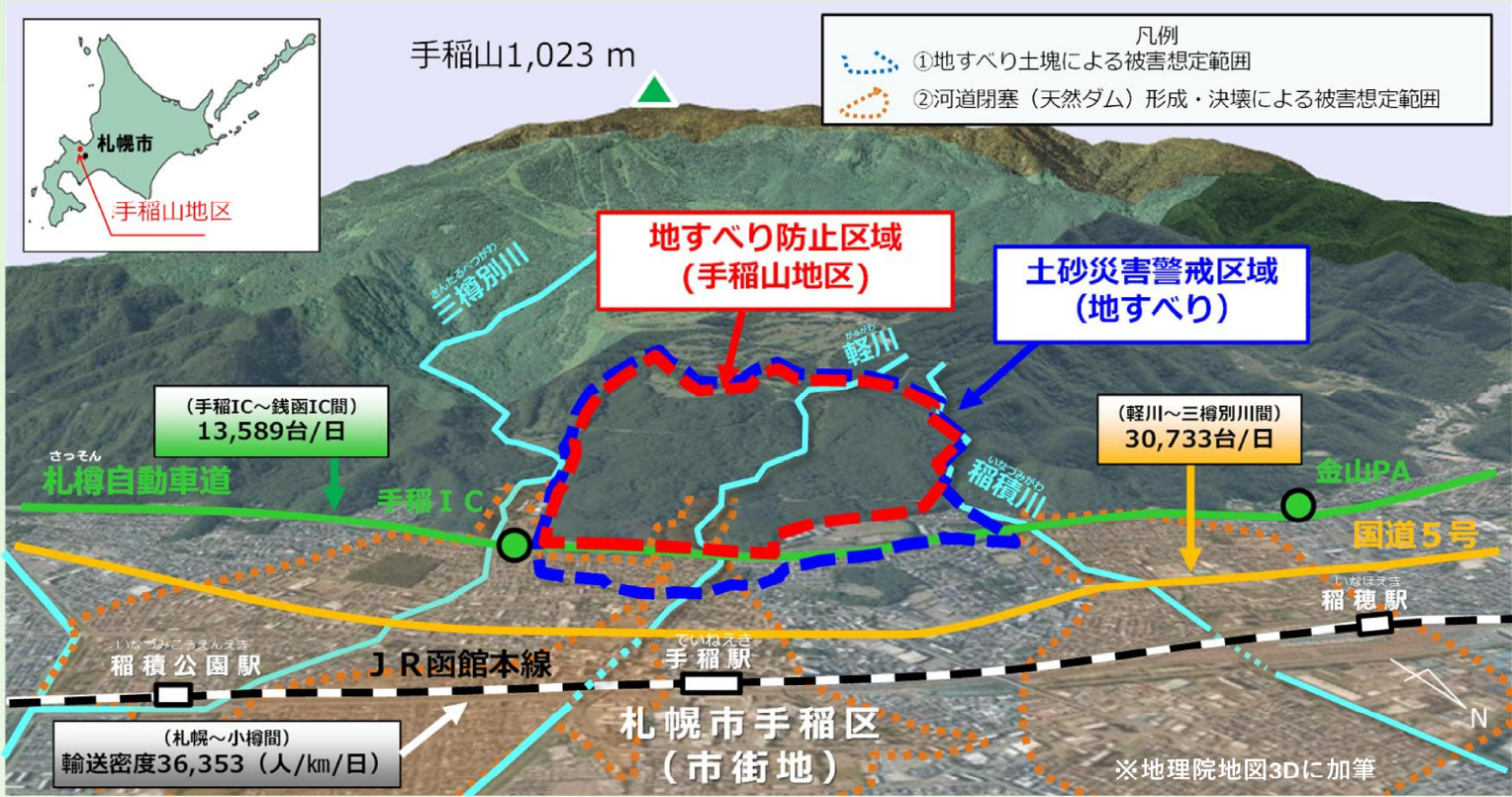
出典：国土地理院地図

手稲山地区直轄地すべり対策事業着手式について

- 1 日 時 令和8年6月27日（土）14時00分～
- 2 場 所 ハイランドスキーセンター（北海道札幌市手稲区手稲金山172番地）
- 3 主 催 国土交通省北海道開発局 北海道 札幌市
- 4 式次第
 - (1) 開 式
 - (2) 式 辞
 - (3) 来賓祝辞
 - (4) 来賓紹介
 - (5) 祝電披露
 - (6) 植 樹 式
 - (7) 閉 式
- 5 取材にあたっての留意点
 - ・取材を希望される報道関係者の方は、6月25日（木）16時までに「氏名、住所及び所属（会社名等）、緊急連絡先、取材人数」を記載の上、下記メールアドレスまでお申し込み願います。参加者多数の場合、人数の調整をお願いする場合があります。

お申し込み先：国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部
メールアドレス：hkd-sp-kouhou@gxb.mlit.go.jp
※ご提供いただいた個人情報は、当日の参加確認に使用させていただき、他の目的には使用いたしません。
 - ・お申し込み頂きました報道機関の方には、当日の会場内への出入りに必要な「駐車証」をメールにてお送りします。「駐車証」を印刷の上、着手式会場にお越しの際には、お車のダッシュボード上に提示して頂きますようお願いいたします。
 - ・中継車などの放送機材車両の駐車が必要な場合は、事前にご連絡をお願いいたします。
 - ・駐車位置は会場内の係員の指示に従ってください。
 - ・当日は現地受付にて名刺をご提出頂きますようお願いいたします。
 - ・当日は報道機関と分かるような腕章をつけていただきますようお願いいたします。
 - ・会場内では主催者の指示に従うとともに、式典進行等の妨げにならないようご協力をお願いいたします。
 - ・会場内での、無人飛行機（ドローン等）の使用は、ご遠慮願います。

いのち・くらし・なりわいを守る 手稲山地区直轄地すべり対策事業



「事前防災」で地すべりを防止

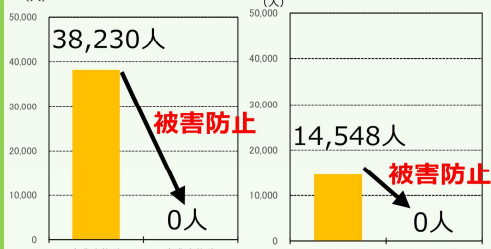
- 手稲山地区では、地すべり活動の兆候現象が発生
- 地すべりは一旦動き出すと停止させるのは困難

事前防災での地すべり対策が必要不可欠



いのちを守る！

手稲山地区地すべり直下の手稲市街地や、学校・病院等の要配慮者利用施設を地すべり災害から保全し、**地域住民の尊い命を守る**



くらしを守る！

札幌自動車道、国道5号、JR函館本線等の重要交通・都市機能を地すべり災害から保全し、**道民の安全・安心な暮らしを守る**

火山噴火時の代替路としての機能

火山噴火等で南回りルートが不通の場合、手稲山地区直下の重要な交通網(北回りルート)は道南方面への代替路として機能



なりわいを守る！

スキー場への唯一のアクセス道路や札幌と小樽をつなぐ主要な交通網等を地すべり災害から保全し、**地域の「産業・なりわい」を守る**

- 1972年 冬季五輪の開催地
 - スキー場の利用者数：約28-29万人
- ※チケット販売数ベース



- R6観光入込客数：約807万人
- 観光客年間消費額合計：1,062億円
- 観光産業雇用誘発数：約13,000人

